

# はまぎんニュージージーランドドル債ファンド2014-07（早期償還条項付）

## 愛称：ミルク・ランド

設定日：2014年7月14日

償還日：2018年1月5日

決算日：毎年7月18日

収益分配：決算日毎

基準価額：9,568円

純資産総額：7.00億円

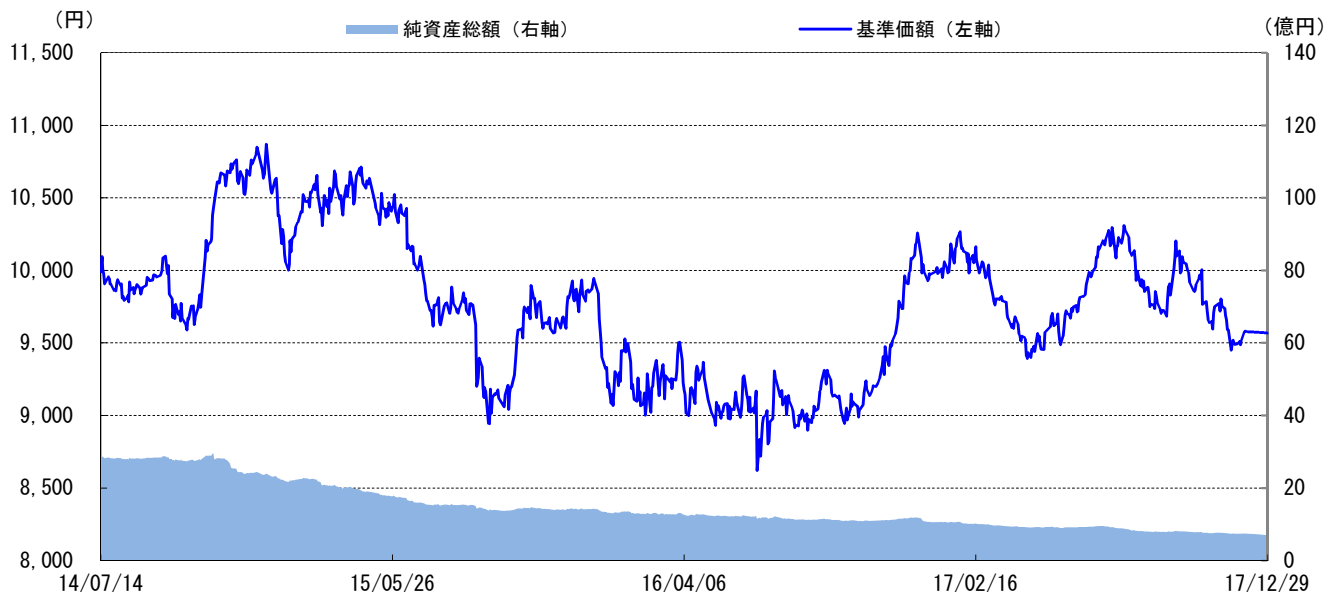
※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。

※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

### 運用実績

#### <基準価額の推移>



※基準価額は、信託報酬（年率1.08%（税抜1%））および税引前分配金控除後の値です。

#### <基準価額の騰落率>

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
0.85%	-4.86%	-5.34%	-3.70%	-11.47%	-3.94%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

#### <分配金実績（税引前）>

17-7-18	16-7-19	15-7-21	
40円	0円	0円	

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

#### <基準価額騰落の要因分解（月次ベース）>

前月末基準価額	9,487円
当月お支払いした分配金	0円
要	
債券要因	インカムゲイン 7円
	キャピタルゲイン -6円
為替要因	92円
因	
その他	-11円
当月末基準価額	9,568円

※左記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めるために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

ポ ー ト フ ォ リ オ の 内 容

<資産構成比>

公社債	0.0%
現金その他	100.0%

※対純資産総額の比率です。

<債券種別構成比率>

種 別	比 率
国債	—
地方債	—
政府保証債・政府機関債	—
国際機関債	—
その他	—

※対純資産総額の比率です。

<債券格付別構成比率>

格 付	比 率
A A A	—
A A	—
A	—
B B B 以下	—
無格付	—
平均格付	—

※対組入債券評価額の比率です。

※平均格付とは、データ基準日現在で当ファンドが保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当ファンドに係る信用格付ではありません。

<利回り等>

直接利回り	—
最終利回り	—
デュレーション	—

※各利回りは、将来得られる期待利回りを示すものではありません。

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。

<債券組入上位10銘柄> (組入銘柄数：—銘柄)

	銘 柄	種 別	ク ー ボ ン (%)	償 還 日	比 率
1	—	—	—	—	—
2	—	—	—	—	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

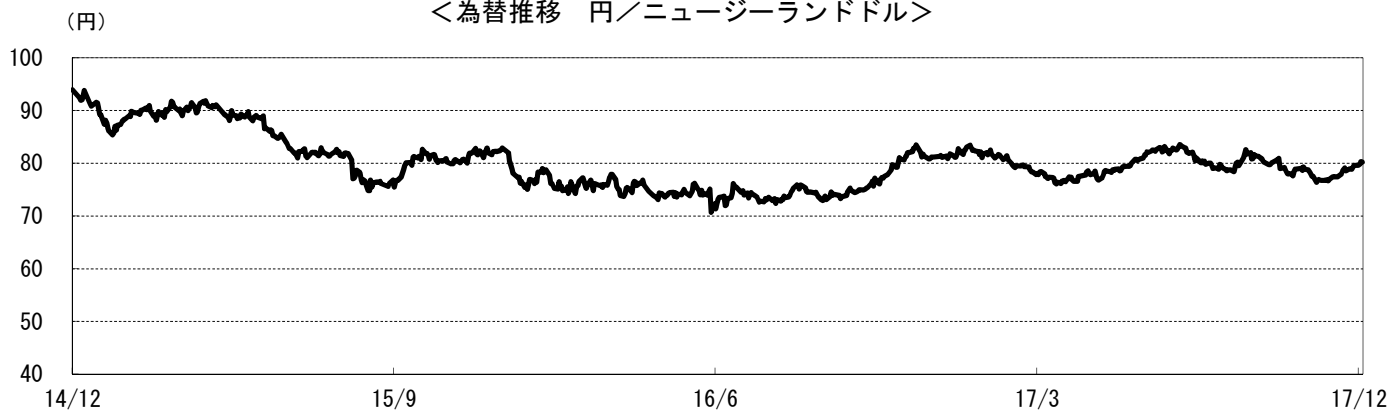
※対純資産総額の比率です。

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

ご 参 考

<為替推移 円/ニュージーランドドル>



※信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めるために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

## 運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

## ◎市場環境

ニュージーランドの債券利回りは、10年国債利回りは上昇（債券価格は下落）し、5年、2年国債利回りは低下（債券価格は上昇）しました。ニュージーランドの主要産業である乳製品の関連経済指標が低調な内容となったことなどが利回りの低下要因となりました。一方、2017年7－9月期GDPが堅調だったことなどが上昇要因となりました。

ニュージーランドドルは、ニュージーランドの2017年7－9月期GDPが堅調だったことや、ニュージーランド準備銀行（RBNZ）の次期総裁が指名され、労働党新政権によるRBNZ政策を巡る不透明感が後退したことなどを背景にニュージーランドドルが買われ、円に対して上昇しました。

## ◎運用概況

保有するニュージーランド債券の価格は下落しました。一方、ニュージーランドドルの対円為替レートが上昇したことから、月を通してのパフォーマンスはプラスとなりました。

ポートフォリオでは、保有していた債券を償還のタイミングを考慮して売却を行いました。その後はファンドの償還に備え、ニュージーランドドルを売却し安定運用への切り替えを行いました。

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。**

■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。